

The best relationship

第二学年通信 No 59

～最高の仲間たち～



2018,10,23.



Be together as one

明日の日程

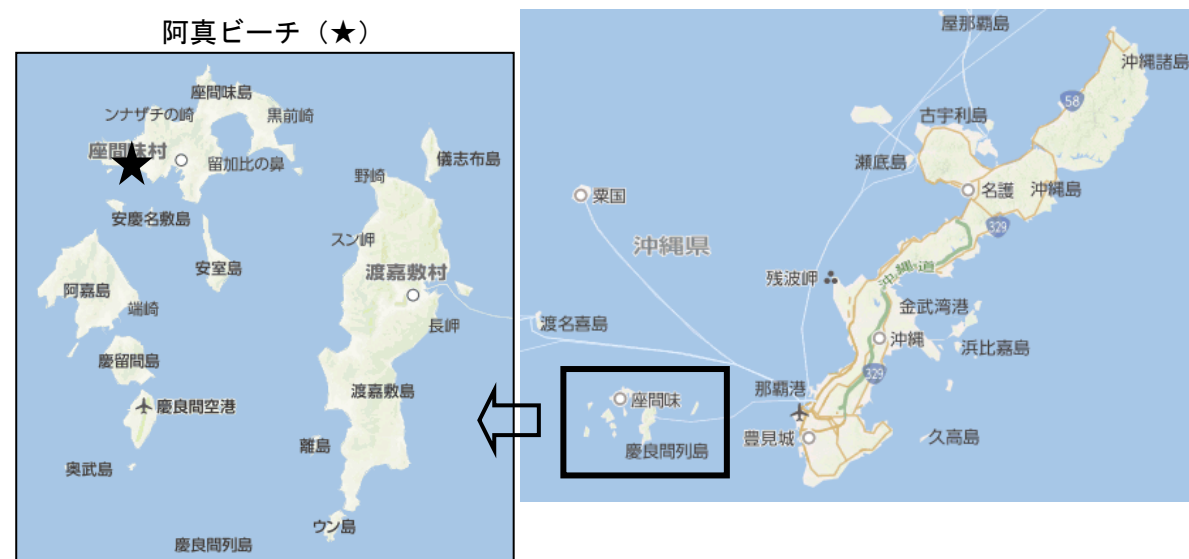
08:20～08:45		朝読書・SHR
08:45～09:15		HR
09:15～09:30		休憩
09:30～10:00	09:30～09:45	展示見学 1組と2組
	09:45～10:00	展示見学 3組と4組
10:00～10:15		休憩
10:15～10:45		学年リハーサル
10:45～11:00		休憩
11:00～11:05		開会セレモニー

今月5日（金）から合唱練習に取り組んで、二週間余りが経ちました。いよいよ明日です。一日、一日の練習を振り返ってみると、どのクラスも順風満帆ではなかったことでしょう。自分の想い、まわりの人の想い、みんなの想い、いつもまったく同じとは・・・時には誤解があったかもしれません。

今年のスローガン『Be together as one』は、『みんなで心をひとつに』という意味です。衝突があったり、感情が表に出たりしたのは、その人が目標に向かって『よりいいもの』にしようと取り組んでいるからではないでしょうか？

『沖縄』を知ろう No 11

沖縄のビーチもピンチ！



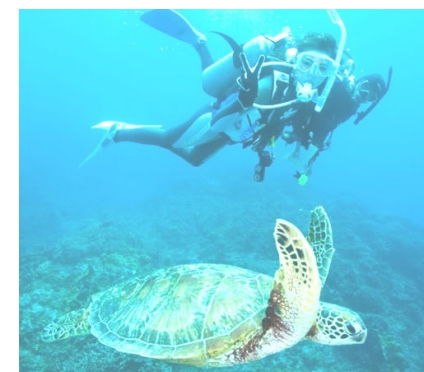
国立公園・慶良間(けらま)「ウミガメ」に会えるビーチ・ケラマブルー」が・・・

座間味島の西側にある阿真ビーチは、浅瀬には海草が生え、沖は豊かなサンゴ礁が広がり、色鮮やかなサンゴや魚、ウミガメたちがのんびり暮らす自然のままの、貴重でしあわせな海。ちょっと海に入れば、ウミガメと会える奇跡のビーチです。そんな出会いを求めて国内外から観光客が訪れ、沖のサンゴ礁では、多数のダイバーが潜りその感動を共有しています。

しかし今、その阿真ビーチのすぐ近くで、浄水場建設など様々な開発計画が持ち上がっていて、そのかけがえのない自然が壊れてしまうのでは？と心配しています。

阿真ビーチに注ぐ川の河口は、一般的な河口と違います。ほぼ一年中、河口には自然に砂が堆積して川を堰き止めているため上流から流れてきた富栄養化した茶色い水は、常に砂でろ過され、海へ浸み出るまでには、透明できれいな地下水となって海底から湧き出しています。この堆積した砂にろ過され、水質が良くなった地下水と適度な栄養が、阿真ビーチの海草やサンゴを育て、ウミガメや魚を育みケラマブルーを保っています。しかし、そこへ浄水場から毎日90トンの排水が流されることになると、河口は常に開かれ茶色い川の水はそのまま海へ注ぐことになり、このバランスは大きく崩れることになります。このままでは、ケラマブルーの海も、すくすく育つサンゴや魚たちにも、無邪気なウミガメたちにも、会えなくなってしまうかもしれません。一度こわれた自然を取り戻すのは、難しいです。自然は人間が作れるものではないし、お金で買えるものでもないです。

今の状態の阿真の自然に、住民も観光客も、どれほどたくさんの恵みや癒しをもらっていることか...。島の宝であり、地球の宝だと思っています。だから、守りたいです。



【うみまーるの島便り 2018年7月号】